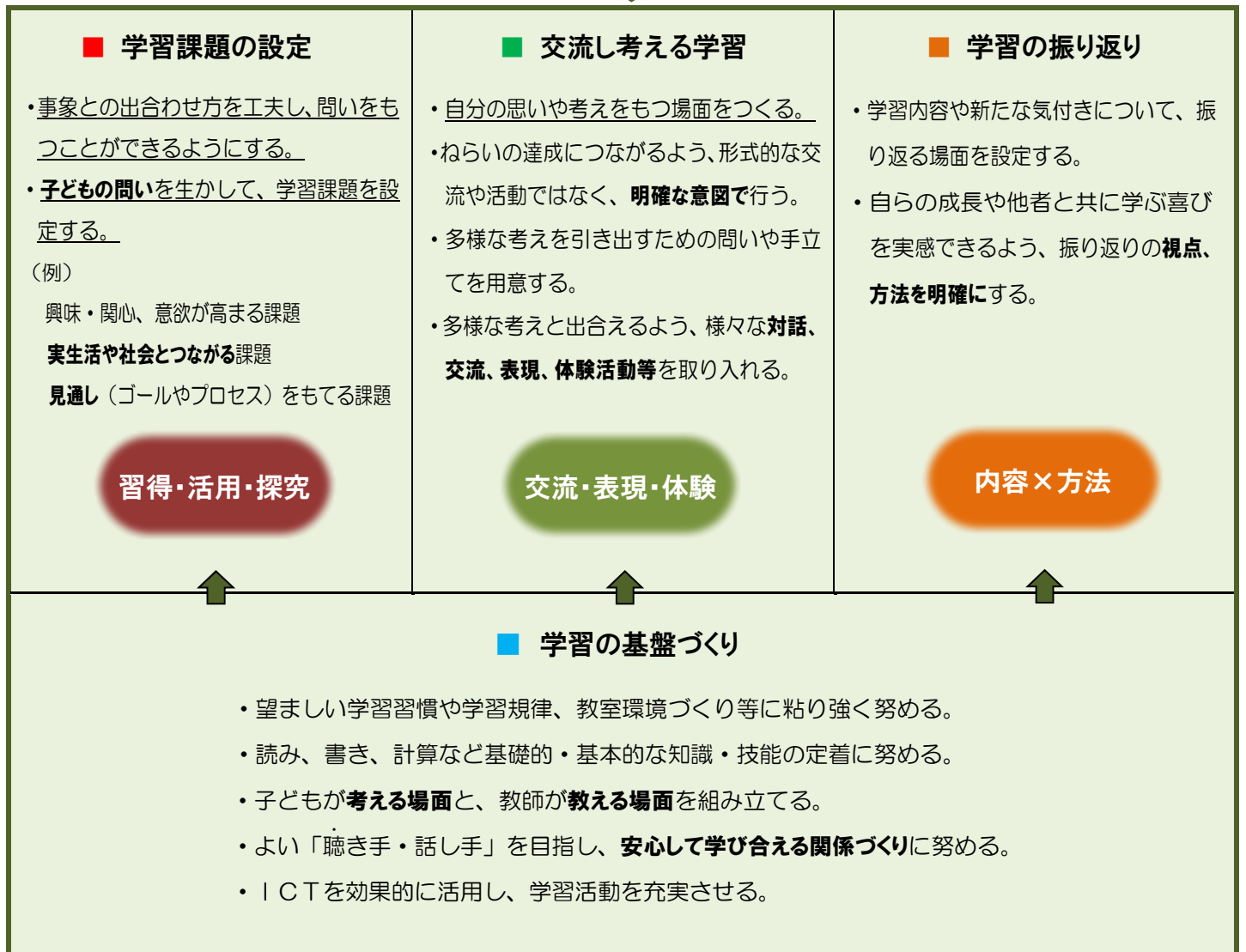


すべての学校、学年、教科で共有し、  
よりよい松山の学びをつくりましょう

【松山の授業モデル】 一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業  
～「教える授業」から「学び合う学習」へ～

〈授業を構想する際の主な要素〉

各校でのカリキュラム・マネジメント	学校の教育目標、児童生徒の実態や発達段階、地域の特色等 教科等横断的な視点		
授業改善の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 興味や関心、見通しをもって取り組む「主体的な学び」</li> <li>○ 自己の考えを広げ深める「対話的な学び」</li> <li>○ 「見方・考え方」を働かせた「深い学び」</li> </ul>		
全授業で共有すべき事項	■ 学習課題の設定	■ 交流し考える学習	■ 学習の振り返り
	■ 学習の基盤づくり		



※ 下線部が新しい部分です。

【実践上の具体的な方策や留意点及び授業改善のセルフチェック（例）】

全授業で共有すべき事項	具体的な方策や留意点	授業改善のセルフチェック(例)			
<p><b>■ 学習課題の設定</b></p> <p><b>習得・活用・探究</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問い（気付き・発見）をもつことができるように、事象との出合わせ方を工夫する。</li> <li>○ 子どもの問いを生かして、学習課題を設定する。</li> <li>○ 現実社会の具体的な問題や、自分ごととして考えられる事柄を含んだ学習課題を設定する。</li> <li>○ たどり着きたいゴールイメージや、進むべきプロセスイメージをもてる学習課題を設定する。</li> </ul> <p>(例)・習得型（基礎・基本の習得）（○○ができるようになるう）          ・活用品（身に付けたことの活用）（○○を使って○○しよう）          ・探究型（問題解決）（○○は○○だろうか）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 子どもの問いを引き出している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習課題をいつも示している。</li> <li><input type="checkbox"/> 解決の方法や視点をもたせる手立てを講じている。</li> </ul>			
<p><b>■ 交流し考える学習</b></p> <p><b>交流・表現・体験</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思いや考えをもつ場面を設定し、個に応じた支援を適切に行う。</li> <li>○ 様々な対話の対象(子ども同士、教職員、地域の人、先哲など)</li> </ul> <p>(例)・交流（ペア学習、グループ学習、話し合い活動など）          ・表現（発表会、討論会、創作活動など）          ・体験（観察や実験、作業、実技など）</p> <p>} 単独及びこれらの組合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 閉じた発問(イエスかノー、答えが1つしかない)と開いた発問(答えが1つではない)の組合せ</li> <li>※ 閉じた発問は、授業によりテンポリズムを生み出す。しかし、閉じた発問だけでは、授業は単調なものとなるため、思考力を刺激する開いた質問も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 個で追究する（考える）場面をつくる。</li> <li><input type="checkbox"/> ペアやグループなどで話し合う（考えを深め合う）活動を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 考えを書いたり発表したりする場面をつくる。</li> <li><input type="checkbox"/> 交流・表現・体験する場面でICTを活用している。</li> </ul>			
<p><b>■ 学習の振り返り</b></p> <p><b>内容×方法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業のねらいに応じて、内容や方法を明確にした学習の振り返りを工夫する。</li> <li>○ 自分の言葉でアウトプットする機会を設けている。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="465 895 1370 1110"> <tr> <td data-bbox="465 895 842 1110"> <p><b>何を(振り返りの内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着</li> <li>・友人との学びの共有</li> <li>・学習を通しての新たな気付き 等</li> </ul> </td> <td data-bbox="846 986 878 1018">×</td> <td data-bbox="882 895 1370 1110"> <p><b>どのように(振り返りの方法)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く振り返り</li> <li>・話す振り返り</li> <li>・見る・聴く振り返り</li> <li>・問い合う振り返り 等</li> <li>※ 作文、感想交流、確認問題、自己評価、相互評価、ポートフォリオ、パフォーマンス課題 等</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p><b>何を(振り返りの内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着</li> <li>・友人との学びの共有</li> <li>・学習を通しての新たな気付き 等</li> </ul>	×	<p><b>どのように(振り返りの方法)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く振り返り</li> <li>・話す振り返り</li> <li>・見る・聴く振り返り</li> <li>・問い合う振り返り 等</li> <li>※ 作文、感想交流、確認問題、自己評価、相互評価、ポートフォリオ、パフォーマンス課題 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 振り返りの場面をつくる。 (学んだことをアウトプットする機会を設けている。)</li> <li><input type="checkbox"/> 振り返りの視点は、学習課題と対応している。</li> </ul>
<p><b>何を(振り返りの内容)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着</li> <li>・友人との学びの共有</li> <li>・学習を通しての新たな気付き 等</li> </ul>	×	<p><b>どのように(振り返りの方法)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書く振り返り</li> <li>・話す振り返り</li> <li>・見る・聴く振り返り</li> <li>・問い合う振り返り 等</li> <li>※ 作文、感想交流、確認問題、自己評価、相互評価、ポートフォリオ、パフォーマンス課題 等</li> </ul>			
<p><b>■ 学習の基盤づくり</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教えるべきこと、身に付けなければならないことは粘り強く繰り返し指導する。</li> <li>○ 学習習慣や学習規律、学習に対する基本的な姿勢を学校や学年で共有し、継続して指導する。</li> <li>○ 「全体に向けて話す」「語尾までしっかり話す」「話し手に体を向けて聴く」「うなずきながら聴く」など、具体的な約束を共有する。</li> <li>○ 困っていること、分からないこと、失敗や間違いなどを温かく受け止める集団づくりに努める。</li> <li>○ 日常的にICTと活用できる環境を整え、基本的な操作の習得や情報モラル等を自分の生活に活用できるようにしていくよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 学習内容が身に付いているかを確認し、定着に向けた手立てを講じている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習のルールを大切にして授業をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 認め合える雰囲気づくりに努めている。</li> <li><input type="checkbox"/> ICTを目的に応じ効果的に活用するなど、情報活用能力を高めるよう努めている。</li> </ul>			